



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 女性総合診療部・隅野幹斉

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 隅野幹斉

当院で出産された方を対象とした提供された卵子による妊娠 の臨床的予後に関する研究

1.研究の対象

2003年7月～2022年10月に当院で出産された方で①提供された卵子による妊娠の方②出産時40歳以上で提供された卵子による妊娠ではない方

2.研究の目的・方法

提供された卵子による妊娠は欧米諸国では普及が進み、体外受精の約1割を占めるまで至っています。一方で日本は法整備がなされていないことから、海外で卵子提供を受けた妊娠のみであり、数としては年間300-400人と推計されています。海外からの報告では卵子提供による妊娠によって妊娠高血圧症候群や早産、胎盤異常、分娩児異常出血、低出生体重児などが増えると報告されています。今回は当院での分娩データをもとに日本での臨床経過について報告することを目的としています。提供された卵子による妊娠で周産期合併症が増加する原因として年齢が挙げられるため、40歳以上での提供された卵子での妊娠以外の分娩と比較して研究します。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、分娩日時、年齢、分娩情報、胎盤病理結果、出生児臨床情報等

4.試料・情報の提供

個人情報とデータは個人を特定できないように切り離して管理し、個人情報保護を遵守いたします。